

ロシア語

ロシア語科目の学修の目安（到達のポイント）および学習動機別の効果的な履修モデルは以下のとおりです。

(1) ロシア語学修の目安

	到達のポイント	習得する語彙数の目安	資格検定などで対応するレベル
初級	ロシア語の文字と発音を正しく理解し、基本的文法事項や語彙の学習を通して、ロシア語の基礎学力を身に付ける。 1) アクセントを判断して正しく読み上げることができる。 2) 基本的なロシア語文を聴き取って正しく書くことができる。 3) 辞書を円滑に活用することができる。 4) ロシア語による簡単な自己紹介程度の聴き取り、作文、会話ができるようになる。 5) パソコンを活用して、ロシア語の入力やインターネットでの簡単な検索ができるようになる。	400	ロシア語能力検定4級：文字と発音、格変化、動詞の時制、日常的な内容の文章を日本語にする、やさしい日常表現をロシア語にする、力点のあるロシア語テキストを読み上げる
中級	ロシア語をより高いレベルで活用するために、名詞格変化への理解を深め、ロシア語動詞の用法を詳しく学習する。それによって、さまざまなトピックのロシア語文を読んだり、自分で表現したりできるようになる。 1) ロシア語に独特な文法特徴を理解し、それらを用いた表現ができる。 2) 簡単な複文の構築法を習得し、それによってさまざまなトピックについて自分の考えをある程度表現できるようになる。 4) 辞書を利用すれば、インターネットによって配信されるロシア語のニュースなどについて、その概要が理解できるようになる。 5) ロシアを旅行した際に、基本的な意思疎通が可能になる。簡単な手紙やメール文を書くことができるようになる。	800	ロシア語能力検定3級～2級：数詞（主格）、比較級・最上級、移動の動詞、関係代名詞の一部など、平易な文の日本語訳、日常生活で使うやや長い表現のロシア語訳、ゆっくりとしたテンポのロシア語テキストの聴取、力点のないロシア語テキストを読み上げる、与えられた身近なテーマで話を展開する、一般向けの読み物や新聞・雑誌記事などを訳す
上級	より専門的なロシア語テキストの内容を理解し、さまざまなトピックについてロシア語で意見を述べたり、対話したりできるようになる。そうした運用能力の獲得により、ロシアの歴史、文化に対する理解を深める。 1) ロシア語のいろいろなスタイルについて理解が深まり、さまざまなジャンルの文を読みこなしたり、表現したりできるようになる。 2) 大学院などの専門的な研究において、ロシア語をある程度活用し、新しい情報を得たり、知見を深めたりすることができる。 3) ロシアの歴史・文化、現代社会の様子などについて、ロシア語によってさまざまな情報が検索できる。 4) 雑誌の評論やテレビのニュース番組などについて、だいたいの内容が理解できるようになる。 5) ロシア語能力を生かして、自分なりのロシア旅行を計画し、実行することができる。	2000	ロシア語能力検定2級～1級：日常会話レベルの話が理解できる、さまざまな分野の事柄を平易なロシア語に訳す、すべての文法事項のチェック、さまざまな分野の文章を訳す、一般教養の範囲内のやや高度な内容の事柄を正確なロシア語に訳す、ノーマルスピードでやや高度な話も理解できる、与えられたテーマでロシア語を話す。

(2) ロシア語履修案内

学習動機	日本ではあまり触れることのないロシア語がどんな言葉なのか勉強してみたい。できればロシア人と話したり，ロシアに行ったりしてみたい。
効果的な履修モデル	【1 年次】初級 I+初級 II 履修 【2 年次】中級 2 コマ以上を履修（ 中級は2コマ以上履修することを強く勧めます！！ ）
学習動機	ロシア語を専門にするわけではないが，将来就職した際に何らかの形で役立てたい。
効果的な履修モデル	【1 年次】初級 I+初級 II 履修 【2 年次】中級 3 コマ履修（ 中級は2コマ以上履修することを強く勧めます！！ ） 【3 年次】上級 1 コマ以上履修
学習動機	大学院進学や，長期留学を希望し，専門的にロシア語を活用していきたい。
効果的な履修モデル	【1 年次】初級 I+初級 II 履修 【2 年次】中級 3 コマ履修（ 中級は2コマ以上履修することを強く勧めます！！ ） 【3～4 年次】上級 2 コマ履修
学習動機	ロシア・東欧の歴史や文化に興味があり，いろいろな情報に直接触れたい。
効果的な履修モデル	【1 年次】初級（総合），人文学科目 1 コマ履修（「ロシア・東欧文学」） 【2 年次】中級 1 コマ以上を履修，人文学科目 1 コマ履修（「ロシア・東欧地域文化論」）

